

感想: 普段絶対に体験することができないガウンの着方や脱ぎ方、採血、点滴をさせていただけで本当に良かったです。ガウンの着方や脱ぎ方を教わり、コロナ禍で働いている医療従事者の皆さんがどれだけ大変なのか理解できたと思います。菌が身体につかないよう遠ざけて脱いざりたくさんの工夫や対策がなされていることが分かり、とても勉強になりました。採血は血管を探すのが難しく、針をさす角度も全然分かりませんでした。失敗が許されないのも、看護師さんの技術は素晴らしいものなんだと思いました。看護師さんのお仕事を体験させていただけで、もっと知って学びたいと思いました。

感想: 病院で「か」ニキで「る」体験をするニ「と」で「ま」として「貴重」な時間だ「り」た。特に模擬採血では、本物の注射器と、11Pに「な」血管を使「て」て「東」洋「だ」ったので、緊張感「を」持「つ」ニ「と」で「ま」、採血の難し「さ」を身に「染」み「て」感「じ」るニ「と」で「ま」て「ま」した。コロナ禍で、看護の「任」務は難「し」い「と」思「い」て「過」酷「な」任「務」を「持」つ「て」い「た」ら「し」い。実際に「体」験「し」て「み」て、人「間」を「救」う「た」め「に」、社「会」に「欠」け「た」い「任」務「だ」と「感」じ「る」ニ「と」で「ま」した。実際の看護師「さん」に「近」い「体」験「を」た「く」さ「す」ニ「と」で「ま」、学「ぶ」こ「と」も「物」に「あ」り、今「後」に「任」務「し」て「行」き「た」い「と」思「っ」た。

感想:

→ 採血と点滴の準備の「体」験「が」でき「る」と「思」わ「れ」た「た」ので「と」も「う」れ「し」か「た」。緊張「さ」ず、4「つ」つ「を」し「た」状「態」で「実」習「に」取「り」組「み」に「あ」り「ま」した。看護師「さん」の「説」明「を」集「中」し「て」聞「い」た「り」、前「の」人「が」先「に」実「習」を「し」て「い」う「様」子「を」観「察」し、自「身」の「実」習「は」、と「れ」が「ス」ム「ス」に「行」え「た」と「思」っ「て」い「る」。採血「は」、一「発」で「成」功「し」た「た」ので、その「時」の「感」覚「を」忘「れ」ず「に」、今「の」先「の」実「習」で「任」務「し」て「い」き「た」い「と」思「っ」た。と「も」貴重「な」体「験」が「でき」て、甲「南」病「院」の「看護」体「験」に「参」加「を」し「て」本「当」に「良」か「た」と「思」っ「て」い「る」。

感想: 自分が採血される時は、一回で成功するのが当たり前だったので、簡単そうだと思っていたけど自分が実際にやってみると全然血がひけなくてすごく難しかったです。でも、2回目では血が出てきた時はほ、としたし、すごくうれしかったし、楽しかったです。うでの中心部分はできたけど、うでの外側は何回やってもできなくて、くやしかったです。点滴の組み立ては、液をチューブに流す時に、空気が中に入ってしまうと、その空気をぬくために空気が入っているところを指でたたいたら空気が上について、おもしろかったです。滴下速度を合わせるのも、速い方がかんたんで、ゆっくりだと難しかったです。



感想: 30日間 感染症科で過ごした中で 実際病院に行き、貴重  
な体験をさせてもらって頂くとかが 2日間、本当に良かった。  
実際看護師の方と回りの実習で、それらの採血体験  
点滴準備などの実際の実習で、それらの経験は、  
1週間分の実習より本日は多かったです。 1週間分の実習の時  
間は一瞬に感じ、1週間分の採血体験は、本当に緊張した。  
その中で、看護師さんや、その仕事は、色々と重  
たくなると感じ、これから、これら貴重な時間を過ごすことが  
できる。

感想: 今回の看護体験は病院でしか出来ないような体験をさせて  
もらった貴重な体験でした。2日目に行った時は、ナース服を着ると  
出来なくて残念でしたが、上だけは着れたので良かったです。  
採血や点滴は病院でしか体験できないし、看護師さんの仕事と  
比べられるとすごく思いつく仕事なので、特に採血は1度は体験して  
みたいと思っていたので、できて良かったです。病院で看護体験を  
させてもらうと、看護師になりたいと思います。これからこのような看護の  
体験にたくさん参加して、将来に活かしていければいいと思います。